



GLORY

GLORY REPORT

グローリーレポート

グローリー株式会社

第**75**期
報 告 書

.....
2020年4月1日から
2021年3月31日まで

TOP MESSAGE

“コア事業と新領域事業のクロス成長”
をコンセプトに、企業価値向上を
図ってまいります

代表取締役社長

三和元純



『2020中期経営計画』の振り返り

成長再加速に向けた重要な布石

当社グループは、2018年4月からの3ヶ年を計画期間とした『2020中期経営計画』において、「持続可能な事業運営の基盤づくり」、「社会課題解決に向けた協働の取り組み強化」、「成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靭化」の3つを基本方針に取り組んでまいりました。

海外市場では、新型コロナウイルス感染症拡大により事業活動に大幅な制約を受け、売上高・営業利益ともに当初目標には届きませんでした。成長エンジンである欧米の流通ビジネスにおいて、つり銭機や紙幣硬貨入出金機の大口商談を獲得するなど、着実に事業拡大を図ることができました。また、事業領域拡大に向けたAcrelec社や

viafintech社の買収、イタリアやメキシコ等における直販・直メンテナンス網の整備強化など、成長の再加速に向けた重要な布石を打ちました。

国内市場では、金融市場において、更新需要の獲得や新500円硬貨発行に伴う改造作業により売上が増加し好調でありました。流通・交通市場では、飲食店やレジヤ施設向け券売機等の販売は苦戦しましたが、人手不足や生活様式の変化に対応するセルフ型レジつり銭機や診療費支払機の商談が想定を上回るペースで進みました。

一方、新領域事業の拡大を目的に、音声認識技術を有する株式会社フュートレックや、流通小売店向けに独自開発のIoT端末(AI Beacon)を活用した顧客分析・行動解析サービスを提供する株式会社アドインテ、モバイルオーダーサービス事業等を展開する株式会社Showcase Gigとの

資本業務提携を行いました。これらの提携を通して、当社グループは、それぞれが保有する技術・ノウハウを相互に活用し、流通業界をはじめとしたさまざまな業界における社会課題や経営課題を解決する新たなソリューションサービスの提供に注力してまいります。

『2023中期経営計画について』

コア事業と新領域事業の連携を図りながら、 両事業の成長を目指す

当社グループは、長期ビジョンの実現に向けた第2ステップとして、2021年4月からの3ヶ年を計画期間とする『2023中期経営計画』をスタートさせました。本計画では、“コア事業と新領域事業のクロス成長”をコンセプトに、次の3つの基本方針を掲げております。

まず、方針1「次世代を切り拓く事業開発の加速」では、顧客基盤、技術など当社の強みを最大限に活かし、『2020中期経営計画』で取り組んできたキオスクサービスやデータマネジメントプラットフォーム(DMP)等、新領域事業の事業拡大と収益化に取り組みます。方針2「コア事業の革新による収益の最大化」では、省力化・省人化や新型コロナウイルス感染症拡大を背景とするコンタクトレス・セルフ化等の市場ニーズを捉え、国内外市場におけるセルフ型製品の売上拡大を目指します。方針3「持続的成長を支える経営基盤の構築」では、成長投資と充実した株主還元を支えるキャッシュ・フロー経営を推進してまいります。

加えて、「サステナビリティ方針」を設定し、事業を通じてさ

まざまな社会課題を解決することにより、社会の持続的成長への貢献と企業価値向上に取り組んでまいります。

株主還元について

当期の配当は、1株あたり66円

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続することを基本方針としております。

当期の配当につきましては、「連結配当性向30%以上」との目標に基づき、期末配当を1株につき36円とさせていただきます。これにより、中間配当30円を加えた年間配当は66円、配当性向は66.0%となりました。

なお、2022年3月期から2024年3月期までの3事業年度の配当につきましては、国際会計基準への移行を視野に、のれん償却前連結配当性向を基準といたしました。また、配当性向につきましては、安定配当を継続するため、当該3期間の“3期平均のれん償却前連結配当性向30%以上”を目標といたしました。本方針に基づき、2022年3月期の年間配当につきましては、1株につき68円(中間配当34円、期末配当34円)を予想しております。

当社グループは、『2023中期経営計画』の施策を着実に実行し、引き続き収益の拡大に全力で取り組んでまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

長期ビジョン2028

ビジョン —— 人と社会の「新たな信頼」を創造する
リーディングカンパニーへ

2023 中期経営計画

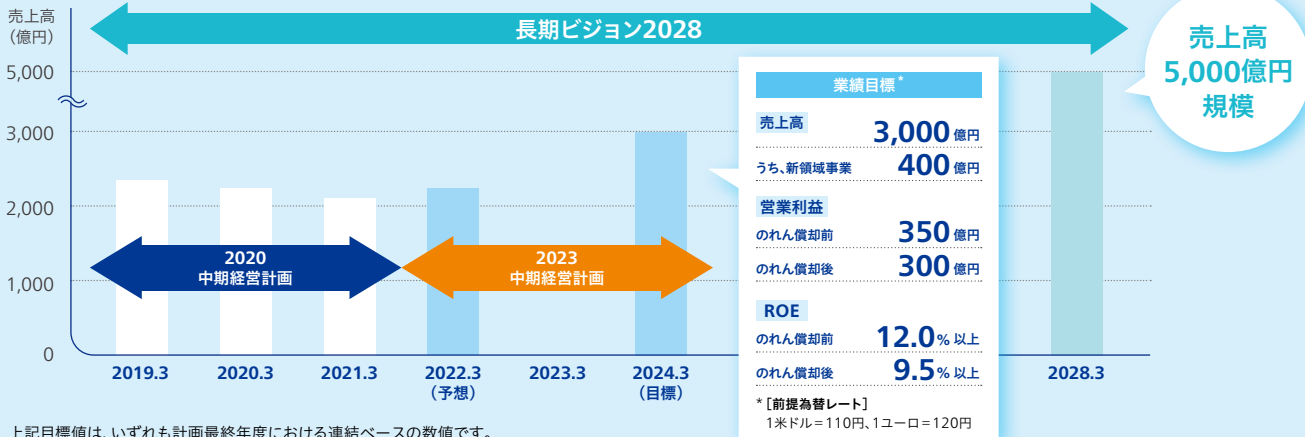


コンセプト コア事業と新領域事業のクロス成長

基本方針

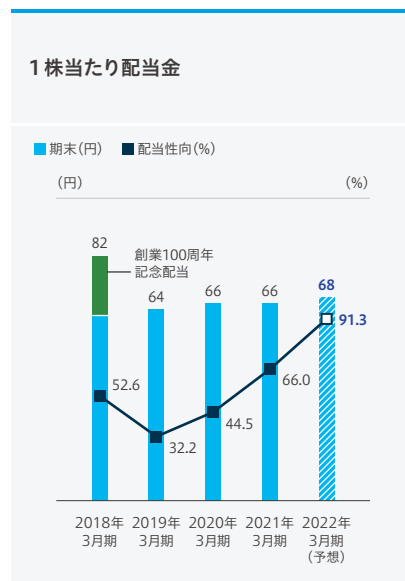
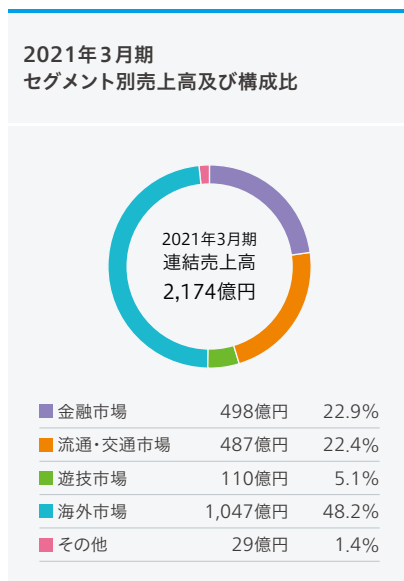
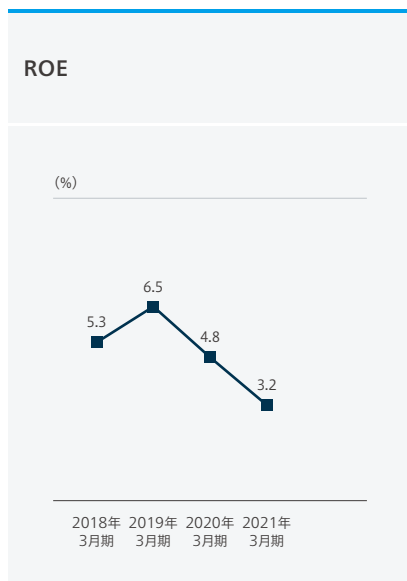
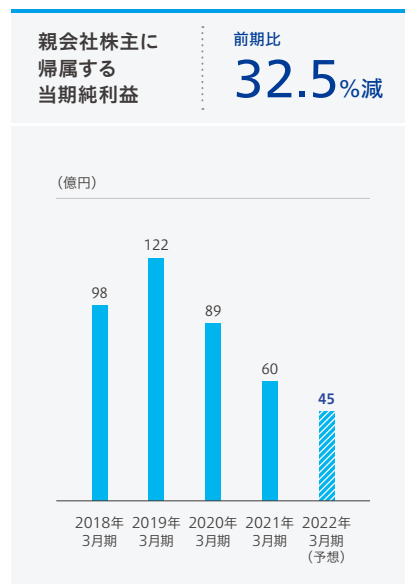
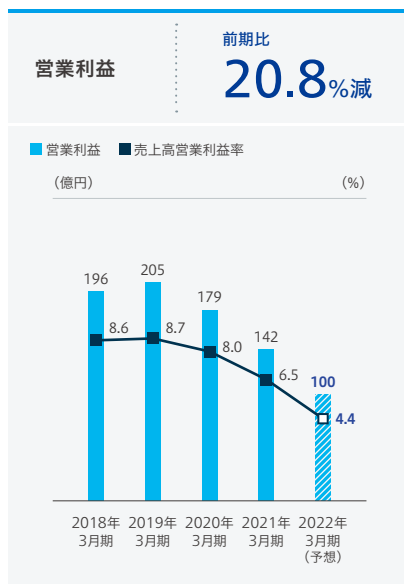
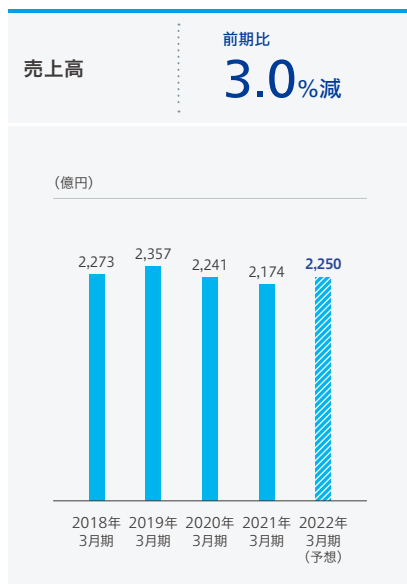
- | | |
|--|---|
| <p>方針 1 次世代を切り拓く
事業開発の加速</p> | <p>⊙ (1) コア事業と親和性の高い事業領域の拡大
(キオスク・DMP・電子決済サービスなど)
(2) 国内営業チャネルを活用した生体・画像認識事業、ロボット事業の収益化</p> |
| <p>方針 2 コア事業の革新による
収益の最大化</p> | <p>⊙ (1) コンタクトレス・セルフ化ニーズを捉えた製品・サービスの拡大
(2) 最新型製品 (TCR (紙幣入出金機)・レジつり銭機など) の投入
(3) 国内の新紙幣発行に伴う更新需要の獲得</p> |
| <p>方針 3 持続的成長を支える
経営基盤の構築</p> | <p>⊙ (1) 成長投資と充実した株主還元を支えるキャッシュ創出力の強化
(2) スピーディーな経営判断をサポートする新ERPシステム導入などDXの推進
(3) 社員エンゲージメントの向上</p> |
| <p>サステナビリティ方針
社会の持続的成長への貢献と
企業価値向上を目指した取組みの推進</p> | <p>⊙ (1) 脱炭素社会実現に向けてCO₂排出量15%削減(2013年度比)
(2) 人権と多様性の尊重
(3) コーポレート・ガバナンスのさらなる強化</p> |

業績目標



上記目標値は、いずれも計画最終年度における連結ベースの数値です。

財務ハイライト



TOPICS

2020年 10月 音声と口唇情報を用いた発話検知技術を株式会社フットレックと共同開発

“音声”による発話検知で得られる情報に“口唇情報*”を加えて発話者の音声を特定する発話検知技術を開発。人の声を含む雑音環境下でも、高精度の音声認識が可能となりました。

*発話者の口の動き

アメリカ最大級のディスカウントストア「Dollar General Corporation*」からセルフチェックアウトレジの紙幣・硬貨つり銭機(CI-10)を大口受注

利用者自身が現金やカード等で決済するセルフチェックアウトレジ用のつり銭機として(CI-10)を大口受注しました。店舗運営における効率化と厳正化に加え、店員と利用者の接触機会を低減し感染予防対策にもつながります。

紙幣・硬貨
つり銭機
(CI-10)



*アメリカ46州で約17,000店舗のディスカウントストアを展開する小売チェーン

12月 顔認証システムが万引被害の改善に貢献

「渋谷書店万引対策共同プロジェクト」において、当社の顔認証システムが、定量・定性の両側面から万引被害改善に効果があることが発表され、本プロジェクトの継続が決定しました。

顔認証システムにより眼科手術前本人確認を厳格に

社会医療法人 三栄会 ツカザキ病院(所在地:兵庫県姫路市、院長:夫 由彦氏)に、眼科手術前本人確認として当社の顔認証システムを日本で初めてご採用いただきました。安全な医療環境の整備や医療従事者の負担軽減に貢献します。

新型コロナウイルス感染症対策としてセルフサービス機のタッチレス操作に対応

券売機や診療費支払機等、セルフサービス機のタッチレス操作フレームを開発。フレームを取り付けたパネル上のボタン位置へ指を動かすことで、パネルに触れることなくボタン操作ができます。

2021年 1月 株式会社Showcase Gigと資本業務提携契約を締結 特集 Close Up!-P6

3月 「健康経営優良法人2021」に認定

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」に、2年連続で認定されました。



卓上型コンパクトつり銭機(R08シリーズ)を発売

設置面積を従来機比20%削減。利用者自身が現金授受を行う「セルフ運用」にも対応させ、飲食店やサービス業など、今までつり銭機の導入に踏み切れなかった店舗でも導入しやすくなりました。

卓上型コンパクトつり銭機
(R08シリーズ)



「セルフ運用」イメージ ▶



バーチャルギャラリー「GLORY NEXT GALLERY」を開設



本社ショールームを360度カメラで撮影し、臨場感あふれるリアル体験をご提供。グローリーの発展を支える“歴史”と“技術”を製品や映像とともにご紹介しています。公式ウェブサイトよりご覧いただけます。



各トピックスの詳細は、
公式ウェブサイト「最新ニュース」をご覧ください。

<https://www.glory.co.jp/news/>

特集 Close Up!

株式会社Showcase Gigとの協業により、 飲食・小売店舗のDXを推進

昨今、流通業界では、人手不足に加え、多様化する消費者ニーズやコロナ禍における社会課題などに対応した、サステナブル(持続可能)な店舗運営が求められています。

2021年1月に資本業務提携を行った株式会社Showcase Gig(以下、SCG社)は、飲食・小売店舗向けにモバイルオーダーやテーブルオーダーサービスを提供するオーダープラットフォーム「O:der(オーダー)」を中心とした事業を展開し、店舗運営の効率化や衛生管理、売上の確保などに貢献しています。当社は、SCG社との協業により、両社が保有するデータやノウハウ等のリソースを最大限に活用し、社会課題や外食市場における経営課題の解決に向けた新たなソリューションの創出を目指してまいります。

SHOWCASE GiG

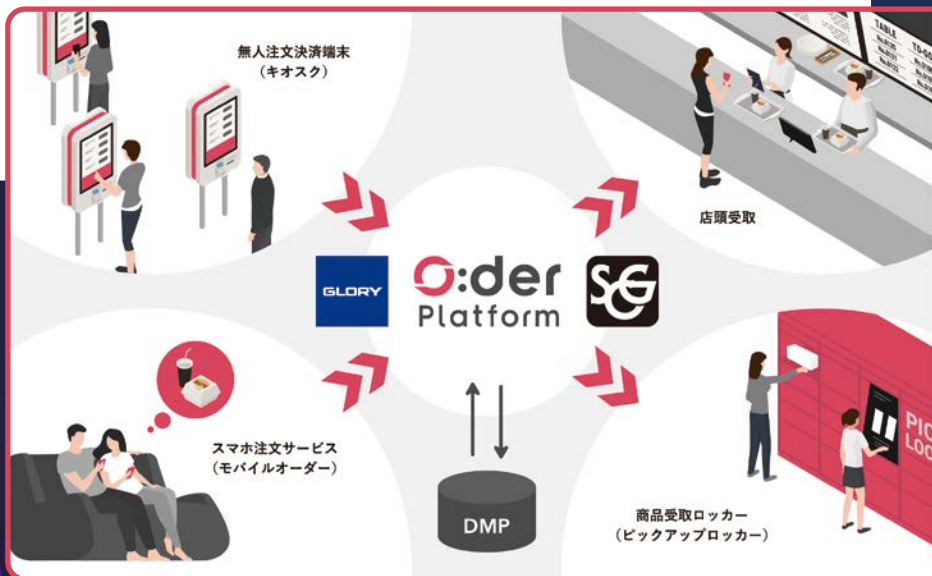
本社所在地	東京都港区北青山
代表者	代表取締役CEO 新田 剛史
設立	2012年2月
事業内容	次世代店舗創出プラットフォーム「O:der」の提供

シナジー 1 券売機やKIOSK端末の 付加価値向上と市場規模拡大

SCG社が提供するプラットフォーム「O:der」と当社製品の券売機やKIOSK端末を連携させることで、製品のIoT化を実現。店舗のDXを推進し、店頭の無人注文システムをはじめとした省人化やスムーズな決済につながるソリューションを提供することで、市場規模の拡大を目指す。

シナジー 2 共同DMP*の構築により 多様なソリューションを創出

当社が保有する来店者の属性データと、SCG社が保有する注文データをDMP上で蓄積。飲食店舗の経営課題に応える顧客分析や店舗分析を行い、顧客満足度向上につながる新たなソリューションサービスを創出する。



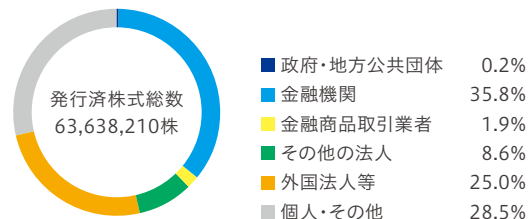
* Data Management Platformの略称。インターネット上に蓄積されたさまざまな情報データを管理するためのプラットフォーム。

会社情報・株式情報 (2021年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式2,866,078株を含む)	63,638,210株
株主数	11,616名(前期比2,552名増)

所有者別株式分布状況



会社概要

商号	グローリー株式会社
設立	昭和19年(1944年)11月27日
資本金	12,892,947,600円
従業員数	3,503名(連結10,520名)
本社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL:079-297-3131(代表)
事業所等	本社・本社工場、東京本部、品川事業所、 埼玉工場、姫路物流センター、他支店等103拠点 グループ会社89社(うち海外75社)
役員一覧	代表取締役会長……………尾上 広和 代表取締役社長……………三和 元純 取締役……………尾上 英雄 取締役……………馬淵 成俊 取締役……………小谷 要 取締役……………原田 明浩 取締役……………藤田 知子 社外取締役……………井城 譲治 社外取締役……………内田 純司 取締役(常勤監査等委員)……………藤田 亨 社外取締役(監査等委員)……………濱田 聡 社外取締役(監査等委員)……………加藤 恵一 (2021年6月25日現在)

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,493	7.1
日本生命保険相互会社	3,427	5.4
グローリーグループ社員持株会	2,522	4.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,386	3.7
株式会社三井住友銀行	2,100	3.3
タツボーファッション株式会社	1,500	2.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	1,308	2.1
グローリー取引先持株会	1,134	1.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	944	1.5
株式会社三菱UFJ銀行	879	1.4

(注)上記のほか、当社が所有している自己株式2,866,078株があります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6457
公告方法	電子公告によります。 [公告掲載URL] https://www.glory.co.jp
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(各種お問合せ先/ 郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料) 受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)
(ウェブサイトアドレス)	https://www.tr.mufj.jp/daikou/

